

2017年度

派遣留学報告書

実習先：アメリカ セントラルミズーリ大学
実習期間：8月23日（水）～12月8日（金）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016089
氏名：野澤美夏理

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
4-1	留学のスケジュール	4
4-2	留学の詳細	5
5	当初目的・目標への達成度	9
6	反省・課題	10
	謝辞	10

付録

	留学日誌	11
--	------	----

1 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ大学

留学期間：平成29年8月23日（水）～平成28年12月8日（金）

※帰国は12月9日

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラルミズーリ大学は1871年に創設され、5つの学部と1つの大学院を擁する州立の総合大学である。生徒数は約13000名で、その他留学制度を積極的に行っており全米43州、世界57カ国から2000名以上もの留学生を受け入れている。場所はカンザス・シティから東に約80キロのウォレンズバーグに位置しており、人口は約2万人である。また、大学内には娯楽施設が充実しており、生徒はスポーツジム、映画館、ボーリング場などの施設で生徒同士の交流を深めることができる。そして大学の図書館には250万以上もの書籍があり、深夜も使用することができるため、多くの生徒が利用している。

(2) 大学で行われる教育について

総合大学であるため、ビジネス系、教育系、芸術系、医療系など幅広い分野を学ぶことができる。特に、航空学が有名でパイロットを目指す学生が全国から集まっている。今回お世話になる語学コースは、Intensive English Program (IEP) というコースで、主に英語を母国語としない学生に英語の教育を行う。参加している学生は、日本、中国、韓国、サウジアラビア、パキスタンなど様々な国からの留学生で構成されている。そのため、英語を学ぶ中で異文化交流も行うことができる。このプログラムは1～9レベルまでクラスが分かれており、自分のレベルに合った授業を受けることができる。また、このプログラム内には様々なアクティビティも用意されており、アメリカの文化・歴史が実体験できるようになっている。

3 留学目的

今回の留学の目的は2つある。1つ目は、全体的な英語力の向上である。特に、英語を使ってスムーズな会話ができるようになること、TOEICの点数の向上を目標とした。TOEICは英語力を測る指標として多くの日本企業が参考にしており、就職活動に役立てることができる。2つ目は、アメリカの文化・歴史・伝統を学ぶことである。本やネットからだけではわからないことを現地に行って学んでくることが目標とした。それと同時に日本についてのことも外国人に伝えていき、互いの国の理解を深めるようにすることも必要だと考えた。また、帰国後もアメリカについて日本人に伝えていきアメリカのこと知ってもらおう行動をしていくことも重要だと考える。これにより、互いの国に興味を持つ人が増え、より良い協力関係を築けるよ

うになることを目指す。

4 留学内容

以下から留学の内容の詳細を記載する。

4-1 留学のスケジュール

月	日(曜日)	午前	午後
8	23 (水)	フライト	到着、入寮
	24 (木)	Health Center、学校案内	Walmart shopping
	25 (金)	IEP クラス分けテスト	IEP Bowling Party
	28 (月)	クラス分け発表、IEP クラス	※ Session1 start
	29 (火) ~ 31 (木)	IEP クラス	
9	4 (火) ~ 7 (木)	IEP クラス	
	10 (日)	IEP Activity (Royals Game)	
	11 (月) ~ 14 (木)	IEP クラス (Midterm Exam)	
	18 (月) ~ 21 (木)	IEP クラス	
	22 (金)	Road Trip to Jefferson City, Missouri (Seminar in American Culture)	
	23 (土)	ISO Trip to KC	
	25 (月)	IEP クラス	
	26 (火)	IEP クラス	IEP Activity (Movies in the Burg)
	27 (水) ~ 28 (木)	IEP クラス	
	10	2 (月) ~ 4 (水)	IEP クラス (Final Exam)
7 (土)		Japanese Festival	
8 (日)		IEP Activity (Footloose Musical)	
9 (月) ~ 12 (木)		IEP クラス ※ Session2 start	
14 (土)		Homecoming	

	16 (月) ~ 19 (木)	IEP クラス	
	23 (月) ~ 26 (木)	IEP クラス	
	28 (土)	Buckeye Acres (American Culture)	
	30 (月) ~ 31 (火)	IEP クラス	
11	1 (水) ~ 2 (木)	IEP クラス (Midterm Exam)	
	6 (月) ~ 9 (木)	IEP クラス	
	12 (日)	Food Show	
	13 (月) ~ 15 (水)	IEP クラス	
	16 (木)	IEP クラス	IEP Activity (IEP Thanksgiving)
	17 (金) ~ 26 (日)	Fall Break	
	27 (月) ~ 30 (木)	IEP クラス	
12	4 (月) ~ 5 (火)	IEP クラス (Final Exam)	
	6 (水)	IEP Activity (Awards Ceremony)	
	7 (木)	TOEIC テスト	退寮
	8 (金)	出発	

4-2 留学の詳細

① IEP クラス

留学期間参加したクラスの時間割は次の通りである。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday
9:00- 10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills
11:00- 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar

1:00- 1:50	Lunch Break			
2:00- 2:50	Accent Reduction	Seminar in Am.	Accent Reduction	Seminar in Am.
3:00- 3:50	American History	USA and Japan	American History	USA and Japan
4:00- 4:50	TOEIC		TOEIC	Conversation Partner

(Session 2 では水曜 4 限が Writing LAB, 木曜 3 限が Grammar LAB に変更となり、金曜 2 限に Weekly Check-in が追加となった。)

i) Reading

文学、ジャーナリズム、および学術論文を読んで、アカデミック・リーディングのスキルズ（概要をつかみながら読む、大事なポイントをおさえながら読む、口頭および文書で要約する）を育成する。

Session 1 では主に、教科書の物語を読んでグループでディスカッションを行い、段落ごとに内容を要約していくことをした。

Session 2 では期間のほとんどを使い、本を熟読していった。Level 7 で使用した本のタイトルは「Pride and Prejudice」である。授業ごとに 1～2 章ずつ読んでいき、グループで内容についてディスカッションを行った。授業の最後には、この物語の映画鑑賞を行い、本と映画の内容の比較検討を行った。

ii) Writing

英語を使ったエッセイの書き方について学ぶ授業である。

Session 1 では Compare&Contrast を使って、日本とアメリカの教育について比較をしたエッセイを書いた。

Session 2 では Cause&Effect を使って環境問題の 1 つを選択しエッセイ書くというものだった。ここでは地球温暖化を選択した。

これらのエッセイを書く際には、大学の図書館で本を選択すること、インターネットから引用することなども行った。

iii) Communication Skills

大学生活における日常およびアカデミックな場面でのリスニング、スピーキング、プレゼンテーション・スキルズを育成する。

Session 1 では、日本と韓国の比較をしたグループプレゼンテーションを、2 つの会社を比較した個人プレゼンテーションを行った。個人プレゼンテーションの内容は GU と UNIQLO の比較を行った。

Session 2 では飛行機についての Cause&Effect のグループプレゼンテーションを、1つの環境問題についての Cause&Effect の個人プレゼンテーションを行った。個人プレゼンテーションの内容は日本の地震について紹介をした。

また、Session 1～2を通してネット上に掲載されたお題に対してクラスでディスカッションを行った。

iv) Grammar

英語の文法について学ぶ授業である。

Session 1 では、Modals、Adjective Clauses、Adverb Clauses の単元を勉強した。

Session 2 では、Noun Clauses、Quoted and Reported speech、Passive Voice、Causative verbs の単元を勉強した。

また Session 1～2を通して習った単元の文法を使い Journal を書くということを行った。

v) Accent Reduction

様々なテーマでグループディスカッションを行い、その中で間違いやすい英単語の発音の仕方やアクセントについて学ぶ授業である。特に、間違えやすい th や r、l、z、v の発音の練習を行った。

vi) American history

語学科目で学んだアカデミック・スキルズを用いて開拓時代から現代の多文化なアメリカまで米国史を概観する。Constitution や Colony などのことについて学んだ。また、英語の絵本を読み、民族や人種などの歴史的背景を学び、発表を行った。

vii) Seminar in Am. (American Culture)

アメリカの文化・伝統について学ぶ授業である。Halloween や Thanksgiving について学んだり、実際に文化・伝統が体験できる Activity が用意されていたりした。詳しくは留学の詳細③へ。

viii) USA and Japan

アメリカと日本の文化について比較検討し、将来のより良い関係構築の可能性を考える。WWII や Friendship Dolls のことについてディスカッションを行ったり、プレゼンテーションを行った。

ix) TOEIC

リスニング、リーディング、ディスカッションおよびビジネス関連のトピックを用いた学習を通じた、TOEIC テストの準備をする。留学の最後には TOEIC テストを行い留学によって英語力がどのくらい向上したか確認した。詳しくは当初目的・目標への達成度へ。

x) Conversation Partner

NUIS の学生 2、3 名に対し 1 名のカンパセーションがつき、週に 1 度会って決めら

れたトピックについて情報や意見交換をする。また、毎週定期的に行われるカンパセーション・パートナー・アワーでは、アメリカ人学生とゲームをしたり、カジュアルな会話をする場が提供される。

② IEP Activities

今回参加した IEP コースでは、授業の他にアメリカの文化が実体験できるアクティビティが用意されていた。主なものは次の通りである。

i) IEP Bowling Party

大学内にあるボーリング場で、IEP の生徒や先生が参加するボーリング大会が開催された。留学にきてから初めての IEP の人たちと交流できた場所となった。

ii) Royals Game

カンザスシティにあるベースボールスタジアムへ野球観戦に行った。対戦チームはロイヤルズ対ツインズで、5対2でロイヤルズの勝利となった。同じ野球でも日本とは違った会場の雰囲気や応援などを知ることができる良い機会となった。



<Baseball Stadium>

iii) Movies in the Burg

大学の近くにある映画館で映画鑑賞を行った。映画の音声はすべて英語で話されるため、内容を楽しみながら、英語の勉強をすることができた。鑑賞する映画は選択することが可能であり、今回は「リーブ」という映画を鑑賞した。内容は孤児院にいる女の子がバレリーナを目指す物語である。

iv) Footloose Musical

大学内にある会場で「Footloose」というミュージカルを鑑賞した。内容は、シカゴ生まれの主人公が田舎の町に引っ越してくるところから始まる。その町ではダンスもロックも禁止されていたが、主人公が周りの人たちを説得していくというものだ。迫力のある生のダンスと歌を鑑賞することができた。

v) IEP Thanksgiving

Thanksgiving に IEP メンバーで集まり、Thanksgiving の伝統料理を食べるというパーティーを行った。伝統料理にはターキー、グリーンビーンズ、キャセロール、パンプキンパイなどがあった。

vi) Awards Ceremony

このセレモニーは、IEP コースの修了が完了する式であった。また、このコース

に参加していた何名かが選出され司会やスピーチを担当した。その他、Writing コンテストの入賞者への受賞、くじ引きで抽選された人へのギフトの贈呈が行われた。

③ その他のアクティビティ

IEP Activity 以外にも様々な学校行事に参加した。

i) Road Trip to Jefferson City, Missouri

American Culture の授業で、Jefferson City へ観光にいった。Capital を見たり、歴史を学んだりすることができた。



<Capital>

ii) ISO Trip to KC

JSO のメンバーの希望者でカンザス・シティに観光に行った。訪れた場所は2か所で、1つ目は美術館である。ここではアメリカの作品だけでなく、アジア、ヨーロッパの作品も鑑賞することができる。2つ目はPLAZAに訪れた。PLAZAとは様々な店が立ち並ぶ商店街である。

iii) Japanese Festival

留学メンバーでJapanese Festivalに行った。Japanese Festivalとは日本の文化・伝統・歴史について紹介するフェスティバルである。太鼓や琴のショーや、着物の体験、日本の食事など様々なことが体験できる。会場には、日本のアニメキャラクターのコスプレをした外国人が多く訪れていた。

iv) Homecoming

Homecomingは大学でクイーン、キングを決めるという行事である。その日行われるパレードにJSOとして参加した。持参した着物を着て、ダウンタウンを歩き、子供たちにお菓子を配った。

v) Buckeye Acres (American Culture)

American Cultureの授業で、パンプキンパッチに行った。ハロウィンについて学ぶ授業の一環であった。アップルサイダーという伝統の飲み物を飲むことができた。



<パンプキン畑>

vi) Food Show

Food Show とは様々な国の料理が提供される学校行事で、今回は JSO として日本の料理を提供した。作った料理は、白玉、大学芋、炊き込みご飯、おにぎり、卵焼き、お好み焼き、カレーなどである。当日はカレー作りを担当した。様々な国の食べ物について知ることができた。

④ Fall Break

この期間は学校の授業は休みで、寮も閉鎖となる。そのため寮に残るには手続きをしなければいけない。Fall Break の期間は普段使っている鍵とは別のものを受け取って使う。またこの期間には希望すればホストファミリーとディナーをすることができ、メンバーは1つの班に1～4名ほどになる。今回は11/19にはLinda Schnkenさんの家に、11/20にはScott Smithさんの家にお世話になった。それ以外の日は、アメリカコースの留学生はそれぞれ旅行を計画するなどしていた。

5 当初目的・目標への達成度

i) 英語力の向上

まず、英語を使ったスムーズな会話だが、留学へ行く前よりもできるようになっていると思われる。留学へきた当初は、まず英語を聞き取ることが難しかった。また聞き取ることができても英語で上手く答えられない場面も多々あった。しかし、留学の後半になるとテンポよく受け答えができるようになっていた。これは TOIEC にも表れている。もう1つの目標として TOIEC の点数の向上を目標といていたが、留学へ行く前の1番新しい TOIEC の点数と留学中に受けた TOIEC の点数を比較してみると100点以上点数が増えていた。特にリスニングの点数の向上が顕著であった。これは授業や日常生活の中でリスニング力が鍛えられたからではないかと考える。また IEP Writing Contest に作品を投稿したところ Awards Ceremony で表彰されることとなった。このコンテストでは Your Tome at UCM、Poetry、Recipes Around the World、Personal Story という4つの部門に分かれており、今回は Recipes Around the World の部門に投稿した。この部門は自分の国の好きなレシピを、どうやって作るのか、なぜ好きなのかを含めて紹介するというもので、新潟ののっぺい汁について紹介した。受賞できたのは、授業で英語の文章の書き方を学んできたためではないかと考える。このコンテストのおかげ新潟のことを伝える良い機会となった。

ii) アメリカの文化・歴史・伝統の理解

この目標は十分に達成できたと考える。まず参加した IEP コースでは様々なアクティビティが用意されていてアメリカの文化・伝統・歴史を学ぶことができた。また学校行事にも JSO に参加するなどして積極的に活動した。アクティビティの詳しい紹介は上記の留学の詳細②、③で説明されている。JSO とは多くの日本人で構成されお

り、学校行事に参加し、日本の文化・伝統について伝えることを目的としているグループである。その他、留学ではアメリカ人だけでなく中国人、韓国人、パキスタン、サウジアラビア人など様々な国の人と話す機会があった。授業のプレゼンテーションでは日本について紹介するとともに、様々な国の文化・歴史・伝統について知ることができた。日本人にアメリカのことについて伝えていく活動は、今後積極的に行うことにする。

6 反省・課題

この約3か月半という機会で、様々な人と触れ合い、アメリカだけでなく他の国々のことについても多くのことを学ぶことができた。帰国したからといってここで終わりにせず、これからも常にアメリカなどの海外に関心を持ち続けていき、英語の勉強を続けていきたい。

謝辞

今回セントラルミズーリ大学の IEP コースの先生として指導して下さった Laura Kennish 先生、Amber Scroggs 先生、Jill Thomas 先生、Miryan K Andaku 先生、Valerie Heming 先生、Lindsey Simanowitz 先生、Matt Chiesi 先生、アクティビティ・バディとして助けてくれた Katie さん、カンバセーション・パートナーとして協力してくれた Val さん、その他大勢の関係者皆様に深く感謝申し上げます。今回の新しい留学先となり様々な話し合いなど忙しい中サポートして下さった藤本先生、矢口先生、伊織先生には心から感謝申し上げます。

付録：留学日誌

ここでは主に上記で書いていない課外活動の日誌について記載していく。

日時	8月31日 火曜日 放課後
場所	大学内スタジアム
課外活動内容	アメリカンフットボール観戦
感想	初めてのアメリカンフットボールの観戦となった。開会式では、楽器演奏やチアガールの踊り、ジェット機を見ることができた。応援のためにUCMのTシャツを購入した。ゲームルールがわからない部分も多かったが、会場の熱気を直に感じることができた。

日時	9月3日 日曜日 放課後
場所	Lions Lake
課外活動内容	星観賞
感想	友人のKatieに車を出してもらい、大学の近くにある湖へ星を見に行った。アメリカの自然にふれることができよかった。移動の際は、お互いのことについて話したり、日本、アメリカのことについて教えあったりした。

日時	9月6日 水曜日 放課後
場所	Brennaの家
課外活動内容	International Bible Club
感想	友人のKatieに誘われてKatieが所属しているバイブルクラブの活動に参加した。このクラブではキリスト今日についてバイブルを読んだり、参加者と話し合ったりして考えを深める活動をしている。キリスト教については難しい部分が多かったが、参加者の人たちと交流を深めることができた。

日時	9月7日 木曜日 放課後
場所	大学
課外活動内容	COCOA AND S'MORES
感想	大学内で開催されるCOCOA AND S'MORESに参加した。ここではアメリカの伝統的なスモアが体験できた。スモアとは、キャンプファイヤーなどでマシュマ

ロを焼きチョコレートやクラッカーで挟んだり、ソーセージを焼いて食べるものである。参加した人とも交流することができて良かった。



日時 9月16日 日曜日 午前

場所 大学、ダウンタウン

課外活動内容 COULOR RUN

感想

大学行事であるカラーランに参加した。カラーランとは白いシャツを着て町の中を走り、その間、様々な色チョークの粉でペイントされるというものである。



日時 10月1日 日曜日 正午

場所 Korean Church

課外活動内容 韓国人との交流

感想

友人のKatieに誘ってもらいキリスト教信仰している韓国人に会いに行った。昼食には韓国料理をごちそうになった。また、その後はゲームをして、韓国人、アメリカ人の人たちと仲良くなることができた。

日時 10月11日 水曜日 放課後

場所 Hendricks Hall

課外活動内容 UCM Wind Ensemble

感想

友人のKatie、Brennaが参加する合奏コンサートを見に行った。Katieはパーカッション、Brennaはオーボエを担当していた。音楽を楽しむ機会が得られてよ

かった。

日時 10月26日 木曜日

場所 Hendricks Hall

課外活動内容 FALL JAZZ ENSEMBLES CONCERT

感想
ジャズのコンサートを見に行った。ジャズの演奏を生で聴くことは初めてで、自由や勢いのある演奏を楽しむことができた。